

# 人がつながる 笑顔が広がる 小坂井元気プロジェクト

豊川市立小坂井東小学校

＜連携園：桃里保育園＞

## 1 実践のねらい

- 小学校と保育園が連携して、地域の自然、人材、行事、施設などを積極的に活用して交流することで、地域の方との関係を築き、地域に根ざした学校づくりを進める。
- 「ほなみ 2016」（総合的な学習の時間・生活科の発表会）や、地域の工芸品づくり、葵まつりへの参加、お年寄りと触れ合う会などで地域の方から学んだり、交流したりする活動を通して、地域の方の思いやその活動を知り、小坂井校区のよさを発見し、地域を愛する心を育む。
- あいさつ運動や環境美化活動などを地域の方とともに行うことで、規範意識や公共心を育み、地域と連携して生活しようとする態度を育てる。

## 2 実践の内容

### (1) 仲間づくりサミット

小学校と保育園と地域の方が、これまで以上に親しくなる活動を行うことで、地域がより活性化するというねらいのもとに、5月20日、「仲間づくりサミット」を行った。会議には小坂井東小学校児童代表（計画委員）、小学校・保育園職員代表が参加した。児童代表からは活動計画が、保育園職員代表からは、事前に把握していただいた園児たちの考えが発表され、地域が元気になる取組について話し合った。園児たちの思いや実態を踏まえた上で、「一緒に地域の行事に参加したい」「町をきれいにしたい」といった意見が活発に交わされ具体的な活動について考えることができた。



【仲間づくりサミット】

### (2) 地域との交流

#### ア Collaboration

＜歯を大事にしよう（保健委員会&保健センター）＞

6月2日、6年生の保健委員が桃里保育園を訪問した。園児とその保護者を対象に、大型紙芝居や寸劇による発表と染め出し体験を行った。これは、保健委員会と保健センターの協同企画で、歯科衛生士さん、管理栄養士さんたちと協力して、園児や保護者に虫歯の予防と効果的な歯みがきの仕方について伝えることができた。園児からは「楽しかった。また来てね」といった感想や、保護者からは「さすが6年生ですね」といったお褒めの言葉を頂いた。



【保健センターとの協同企画】

＜地下道の壁画づくり（5年生&年長組）＞

5年生は、通学路にある地下道の壁に絵を描いて、地域の方に喜んでもらおうと、6月から活動に取り掛かった。地域が元気になるテーマや図案について話し合い、準備を進めた。12月12日、年長組の園児と5年生が協力して壁面に絵を描いた。園児から募った絵「将来の夢」をもとに、5年生がデザインした絵が完成した。地下道を利用する地域の方から「地下道が明るくなったような気がするね。心



【サッカー選手になりたい】

が温かくなったよ」といった感想が学校や園に寄せられた。

## イ 地域との触れ合い～人・もの・こと～

＜郷土に伝わる工芸品づくり＞

「小坂井の風車」は江戸時代から伝わる郷土工芸品である。毎年4月、校区にある菟足神社で行われる風まつりで目にすることが多い。豊作や健康を祈願する縁起物とされ、愛知県の郷土工芸品になっている。毎年2年生が「小坂井風車保存会」の方を招いて風車づくりを体験している。1学期は2年生が保存会の方から作り方を教えていただいた。2学期は、2年生が教える側になり、園児と一緒に「風車」を作った。完成後、子供たちは風車遊びを満喫した。地域に伝わる工芸品に触れる貴重な機会となった。

＜地域のイベントに参加＞

「葵まつり」は、小坂井町民が楽しみにしている行事である。10月9日、葵まつりのオープニングで、マーチング部がパレードとステージドリル演奏を行った。また、保育園の年長組がダンスを披露した。子供たちのパフォーマンスに温かい拍手と声援を頂き、まつりを盛り上げることができた。

＜昔の遊びを学ぶ＞

12月13日、1年生が「むかしあそびの会」を行った。回覧板で町内のお年寄りに参加を呼びかけ、24人の方たちに協力いただくことができた。わらべ歌を一緒に歌ったり、昔の遊びを教えてもらったりした。夢中になって遊ぶ子供たちと、それに負けないくらい元気なお年寄りの姿が印象的だった。



【オープニングのパレード】



【むかしあそびの会】

## ウ ほなみ 2016

11月12日、「ほなみ 2016」（総合的な学習の時間・生活科の発表会）が行われた。この活動を地域の方に知ってもらい、多くの方に来ていただけるよう、全校児童一人一人が心をこめて招待状（1～3年）とちらし（4～6年）を作成した。校区の各家庭にちらしを回覧してもらい、小坂井東保育園・小坂井北保育園・桃里保育園の園児たち全員に招待状を届けた。当日は、保護者や祖父母、校区のお年寄りや園児たちに向けて発表したり、参観者と一緒に活動したりすることができた。

## エ その他の交流

保育園を訪れて、小坂井校区クイズ（4年）や秋のおもちゃ遊び（5年）を催した。特別養護老人ホームとの交流（2年・園児）や授産所の訪問（6年、特別支援学級）を行った。また、5・6年生がPTAや健全育成会の方と一緒にあいさつ運動（毎学期2週間）を実施した。

## 3 実践の成果と課題

園児とともに地域の方との様々な交流活動を通して、小学生は「いろいろな人と仲よくなれた。地域の方に喜んでもらえてよかった」というような地域の仲間の一員としての自覚が高まった。また、自分の役割を自覚して一生懸命に行動することで、「うまくできるか不安もあったけど、みんなと協力してやり遂げることができた」というような自分自身の成長を感じることができた。園児は、毎回の活動を楽しみにし、小学生への憧れや小学校生活に期待する気持ちをもつことができた。また、「仲間づくりサミット」や活動ごとの打合わせで、今まで以上に保育園と小学校の職員がかかわる機会が増えたことは、それぞれの子供を理解し合う上で有効であった。

4月、校区の関係機関（町内会、高齢者クラブ、健全育成会など）に実施したアンケート結果から、今回実施した内容以外にも福祉・自然保護・環境美化活動など、題材になり得るものが考えられる。今後も関係機関とのつながりを大切に、地域との連携を深める方法を模索していきたい。